



「すべて自分の思い通りいかないと気が済まない人……！」

修学旅行の部屋割りを決める話し合いが行われています。話し合いとは、自分の思い通りになるように、自分の理想の条件を相手に押しつけるものではありません。「自分は〇〇さんと一緒にになりたいし、〇〇さんとは一緒にになりたくない。」このように、誰もが一番楽な気持ちで過ごせる部屋割りを望むと思います。今回の修学旅行では、クラスを二つか三つの部屋に分けるのですが、クラスの全員が一人ひとりの要求を主張してきたら話し合いがまとまるわけがありません。もし、お互い自分の意見を押しつけあったら、話し合いを終わらせるには、誰かが我慢することで話し合いを終わらせることにするしかないでしょう。我慢してくれた人に、自分の意見を譲らなかった人が、「ありがとう」と気持ちを示してもらえればまだしも、我慢している気持ちも理解しないで涼しい顔などしていたら、譲った人は悲しくなることでしょう。

本当ならば全員が、「私は誰と一緒にしても我慢して受け止めます。」という気持ちになってもらうことで初めて話し合いがスタートするのだと思います。最終的にはくじで決定して、みんな同じように思い通りにいなくても、それぞれがお互いを認め合ってやっぴこうとなればすばらしいと思います。しかし、「自分は絶対に〇〇さんと一緒にないとだめ」とか、「絶対〇〇さんがいたら無理。」とかいう人がいる場合は、話し合いが必要となります。

全員がどこかで我慢する気持ちを持ちましょう。そして、もっと友達を認め合う気持ちを持ちましょう。自分にとって理想の部屋割りをしようとすればするほど、誰かが我慢していることを考えましょう。一人の人が我慢するのだけでなく、みんなで少しずつ我慢して調整しましょう。それが話し合いです。話し合いはお互いが相手のことを理解し、相手の気持ちになってあげなければ前には進みません。皆さんのクラスの話し合いは大丈夫ですか！

